

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	総合交通政策に要する一般的経費		
部局名	都市計画部	課(室)名	街づくり推進課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	05 公共交通機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	～ 永年	目	01 都市計画総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	035 総合交通政策事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路運送法及び同法施行規則、地域公共交通会議設置要綱		

【現状と課題】

現状と課題	平成18年の道路運送法改正に伴い、地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様・運賃・料金等に関する事項、市町村運営有償運送の必要性等については、地域公共交通会議で諮り、その承認を得て実施することとなった。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市域内において公共交通による移動手段を必要とする人	平成23年3月に策定した地域公共交通アクションプランに基づき、路線バス・コミュニティ交通の維持・確保・改善及び新たな公共交通導入に必要となる取り組みを進め、必要に応じて、地域公共交通会議を開催する。	市民が通勤・通学・通院・買い物など生活する上で必要不可欠な路線バスの維持と、公共交通不便地域の解消を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人		268,390	268,053		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
地域公共交通会議開催回数	回		2	1	2	平成26年度

活動指標分析結果	平成26年2月24日に地域公共交通会議を開催した。		
事業費	千円	223	213

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
議案承認件数	件		4	3	1	平成26年度

成果指標分析結果	かこバス停留所の移設、市町村運営有償運送(上荘くるりん号)の延伸に関する議案等について、会議での承認を経て実施することとなった。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
補助路線バスの再編・休止、市町村運営有償運送(上荘くるりん号)路線の延伸など、アクションプランに基づき効率的・効果的な提案を行いながら事業を進め、前期(平成23年～25年度)に予定していた取り組みは、概ね完了している。また、地域公共交通会議を必要に応じて適切に開催している。	

※事業費と財源内訳

決算額	213	内訳	国費	県費	市債	他	一般	213
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	公共交通補助事業		
部局名	都市計画部	課(室)名	街づくり推進課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	05 公共交通機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	～ 永年	目	01 都市計画総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	035 総合交通政策事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路運送法、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱(国)、兵庫県県土整備部補助金交付要綱		

【現状と課題】

現状と課題	高齢社会の進行に伴い、公共交通の重要性が高まっている。路線バスは従来から運行されているが、公共交通不便地域を解消するため、平成15年に「かこバス」を、平成17年に「かこタクシー」、平成24年度に市町村運営有償運送(上荘くるりん号)の運行を開始した。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市域内において公共交通による移動手段を必要とする人	事業者に対し、公共交通(路線バス・かこバス・かこタクシー)運行による損失の一部を補填する。	市民が通勤・通学・通院・買い物など生活する上で必要不可欠な路線バスの維持と、公共交通不便地域の解消を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	267,935	268,390	268,053
かこバス沿線住民	人	58,269	58,269	58,269

活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
かこバス運行回数	回	46,644	46,910	46,870	46,789	平成26年度
利用啓発活動	回	4	4	4	3	平成26年度
かこバス運行経費補填額	千円	70,486	75,351	77,905	78,037	平成26年度

活動指標分析結果	広報かこがわに公共交通機関の利用促進に関する記事を掲載。上荘くるりん号については、利用啓発パンフを作成し、上荘町内に全戸配布した。また、かこバス・かこタクシーの時刻表を広告会社を活用して作成し、新聞折込による配布を行うなど、利用促進に努めた。					
事業費	千円	130,336	132,611	131,740		

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
かこバス利用者数	人				606,000	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		605,732	610,162	604,573		
かこバス利用者一人あたり補助額	円				100	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		116.4	123.5	128.9		
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	キロあたり運行経費が1.3%増加する一方で、利用者数が前年度と比較して0.9%減少したため、一人あたり補助額は4.3%増加した。今後は利用促進の取り組みの強化や路線の見直しを行うことで、利用者増、補助額減に努めていく必要がある。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合が考えられる(市役所以外の他団体の類似事業)
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了	
補助路線バスの再編・休止、市町村運営有償運送路線の延伸など、アクションプランに基づき、効率的・効果的に事業を進め、路線バスの維持と公共交通不便地域の解消を図っている。	

※事業費と財源内訳

決算額	131,740	内訳	国費	県費	15,962	市債	他	61,085	一般	54,693
-----	---------	----	----	----	--------	----	---	--------	----	--------